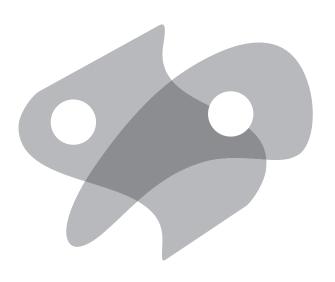
# 第 1 章

## 毎日の子育て生活

山岡 テイ



#### 1. 現在の子育ての気がかり

現在の子育での気がかりは9学年共通して、「整理整頓・片づけ」が第1位であった。中学生になっても「整理整頓・片づけ」は小学生と変わらぬ数値であるが、母親の関心は「子どもの進路」「勉強の成績」や「学校の宿題や予習・復習」などへ移行していく様子が顕著であった。

#### しつけ・教育や対人関係での 不安感が高まっている

現在の子どもの日常生活、成長発達・態度や性格、友だち関係、しつけ・教育や母親自身のことなど34項目から、母親の「子育ての悩みや気がかり」を複数回答してもらった。その結果、小・中学生全体では、①「整理整頓・片づけ」59.4%、②「友だちとのかかわり方」38.5%、③「ほめ方・しかり方」36.3%、④「食事のしつけ」35.2%、⑤「家庭学習の習慣」33.4%が上位5位であった(図1-1)。

「片づけができない」悩みは、この数年 に急増した気がかりで、小1生から中3生ま で9学年共通で1番にあげられていた。

1998年の子育ての気がかり上位5位をみると、第1位は同じく「整理整頓・片づけ」であるが、今回は11.4ポイント高くなっていた。また、第2位の「友だちとのかかわり方」は1998年調査では第5位の33.9%であったが、今回は子どもの性格を含めた友だちづきあいへの関心が高まり上昇していた。

1998年調査では第2位の「食の安全性」は 12.2ポイント減少し第14位となり、第3位の 「生活リズムと朝起きる時間・夜寝る時間(以 下、『生活リズム』と略記)」も4.5ポイント減り、 第4位(全体では第6位)になっていた注1。

母親の子育ての関心事は、おもに第1子の成長発達に伴って変化していくが、本調査においても、上位5位までは「第1子」の母親に多い悩みであった。また、母親の就業状況別に気がかりをみると、「専業主婦」に多い悩みは、「食事のしつけ」「食の安全性」「ほ

め方・しかり方」「からだの悩み」で、「パートやフリー」は、「家庭学習の習慣」「子どもの教育費」「仕事と家庭の両立」、「常勤」は、「生活リズム」「遅刻」「翌日の学校の用意や準備をすること(以下、『翌日の用意』と略記)」「仕事と家庭の両立」であった。

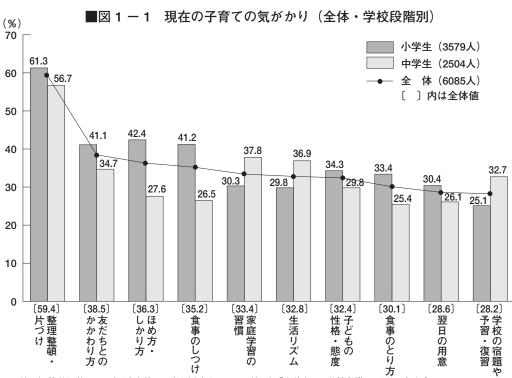
## → 「片づけられない」悩みが 小1~中3生までの第1位

「整理整頓・片づけ」を回答した小学生の母親のなかでおよそ2人に1人が他の悩みとしてあげた項目は、「ほめ方・しかり方」「食事のしつけ」「友だちとのかかわり方」「翌日の用意」であった。同様に中学生では、「子どもの進路」「勉強の成績」「学校の宿題や予習・復習」「生活リズム」があげられていた。

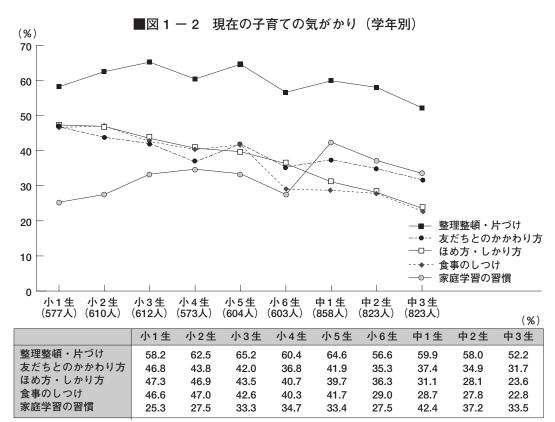
小学生では子どもが「片づけられない」悩みと「食事のしつけ」「ほめ方・しかり方」などしつけ方略への関心が高いが、図1-2に示すように、それらは学年が上がるとともに減少していく。中学生になっても、「整理整頓・片づけ」は小1生とほぼ変わらぬ気がかりの数値であるにもかかわらず、母親の関心事は、「子どもの進路」「勉強の成績」や「学校の宿題や予習・復習」など教育期待や不安へと移行していく様子があらわれていた。

「片づけられない」悩みは、この数年、筆者が1~6歳児の母親を対象に行った調査でも「子育ての気がかり」の第1位になっており、近年の子育ての特徴的な心配事といえよう。おとなになっても片づけられない人たちのTV報道など、マスコミ情報の影響も不安感を一層募らせているとも思われる。

注1) 経年比較は1998年調査対象が小3~中3生のため、2002年調査も小3~中3生のみを抽出。



- 注1)複数回答。34項目中上位10項目を図示した。 注2)「全体」には学校段階が不明の者も含む。
- 注3)項目は一部、略記した。詳細は「調査票見本」(p.118)を参照のこと。



注) 複数回答。34項目中上位5項目を図示した。

## 女子は友だちづきあい 男子は食事のしつけが悩み

#### <小学生>

子育ての気がかりを学年別と性別で上位10位までを比較したのが**表 1 - 1、2** である。

小学校低学年で、とくに目立つのは子どもの食事態度や偏食など食生活に関する母親の心配である。10位中3項目が食事関連であるが、他の項目もほぼ男子の数値が高く、しつけ全般で手をやいていることが出ていた。

学校の集団生活に順応できるように片づけ 能力、翌日の学校の用意など規則正しい生活 習慣を低学年のうちに身につけさせたいとい う親の願いがあらわれていた。

小学校中学年では、「家庭学習の習慣」が 小3生で第7位、小4生で第5位に上昇して きている。また、おこづかいや友だちとの関 係での「お金の使い方」が登場している。 「ほめ方・しかり方」は女子の気がかりとし て高くなってきている。

高学年になると、男子で多い項目は小4生から上昇してくる「家でのテレビゲームやマンガなどの遊び」である。食事態度も男子のほうに多い気がかりである。一方、女子のほうに多いのは、「友だちとのかかわり方」や「子どもの性格、現在の態度や様子(以下、『子どもの性格・態度』と略記)」などであって、思春期に向かうからだと心の変化でむずかしい時期にあり、母親と娘の葛藤が心配事にもあらわれていた。「生活リズム」の乱れもこの時期から登場してくる。

1998年調査と比べて、今回は「しつけの仕方」が上位にあげられており、小学生のしつけに悩む様子が顕著であった。

#### ■表 1 - 1 現在の子育での気がかり (全体・学年×性別) ①

(%)

|     |                   |                 |                 |                 | (70)            |
|-----|-------------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| 順位  | 全体                | 小 1 生           | 小 2 生           | 小 3 生           | 小 4 生           |
|     | (男子3129人 女子2948人) | (男子300人 女子277人) | (男子297人 女子313人) | (男子323人 女子289人) | (男子273人 女子300人) |
| 177 | 整理整頓・片づけ          | 整理整頓・片づけ        | 整理整頓・片づけ        | 整理整頓・片づけ        | 整理整頓・片づけ        |
| 1   | 男子 59.2           | 52.3            | 66.7            | 65.0            | 60.1            |
|     | 女子 59.7           | 64.6            | 58.5            | 65.4            | 60.7            |
| 2   | 友だちとのかかわり方        | ほめ方・しかり方        | 食事のしつけ          | ほめ方・しかり方        | ほめ方・しかり方        |
|     | 男子 36.2           | 45.0            | 50.5            | 42.4            | 39.2            |
|     | 女子 40.9           | 49.8            | 43.8            | 44.6            | 42.0            |
| 3   | ほめ方・しかり方          | 友だちとのかかわり方      | ほめ方・しかり方        | 食事のしつけ          | 食事のしつけ          |
|     | 男子 35.3           | 46.0            | 47.5            | 46.7            | 40.3            |
|     | 女子 37.3           | 47.7            | 46.3            | 38.1            | 40.3            |
| 4   | 食事のしつけ            | 食事のしつけ          | 友だちとのかかわり方      | 友だちとのかかわり方      | 友だちとのかかわり方      |
|     | 男子 35.5           | 49.0            | 42.1            | 42.7            | 34.4            |
|     | 女子 34.7           | 44.0            | 45.4            | 41.2            | 39.0            |
| 5   | 家庭学習の習慣           | 子どもの性格・態度       | 食事のとり方          | 子どもの性格・態度       | 家庭学習の習慣         |
|     | 男子 35.6           | 35.0            | 36.4            | 38.4            | 36.3            |
|     | 女子 31.1           | 40.1            | 36.4            | 33.9            | 33.3            |
| 6   | 生活リズム             | 食事のとり方          | 子どもの性格・態度       | 食事のとり方          | 子どもの性格・態度       |
|     | 男子 31.9           | 37.0            | 37.4            | 37.2            | 36.6            |
|     | 女子 33.6           | 36.1            | 34.8            | 32.5            | 31.7            |
| 7   | 子どもの性格・態度         | しつけの仕方          | しつけの仕方          | 家庭学習の習慣         | 食事のとり方          |
|     | 男子 31.0           | 36.3            | 38.0            | 35.0            | 30.4            |
|     | 女子 33.9           | 33.9            | 30.0            | 31.5            | 30.7            |
| 8   | 食事のとり方            | 翌日の用意           | 翌日の用意           | 翌日の用意           | 翌日の用意           |
|     | 男子 30.0           | 33.3            | 39.4            | 36.8            | 35.9            |
|     | 女子 30.3           | 31.0            | 28.4            | 26.0            | 23.7            |
| 9   | 翌日の用意             | 食の安全性           | 学校生活の様子         | お金の使い方          | 家でのテレビゲーム       |
|     | 男子 33.2           | 31.7            | 35.7            | 29.7            | 41.0            |
|     | 女子 23.8           | 29.6            | 27.5            | 32.9            | 19.0            |
| 10  | 学校の宿題や予習・復習       | 学校生活の様子         | 食の安全性           | しつけの仕方          | お金の使い方          |
|     | 男子 30.6           | 27.0            | 30.0            | 34.7            | 29.7            |
|     | 女子 25.8           | 35.0            | 28.4            | 26.3            | 29.3            |

注1) 複数回答。 注2) 項目は一部、略記した。詳細は「調査票見本」(p.118) を参照のこと。

#### 男子には見える学習力を期待 女子への受験対策が高まる

#### <中学生>

「子どもの進路」「勉強の成績」「学校の宿題や予習・復習」「家庭学習の習慣」など学力関連の項目については男子への期待が高い数値を示しているのが、中学生の特徴である。

しかし、中2生以降の「受験準備」は、女子の母親のほうが気がかりにしている割合が高かった。1998年調査では、「受験準備」は、中2生は男女がほぼ同じで中3生では男子の母親のほうが多かったことから、この傾向は今回の特徴といえよう。

他の設問項目であるが、塾や習い事の割合を男女で比較すると、中1、2生では「補習塾」、中3生では「家庭教師」が、女子のほうに多かった。

一方、男子には、「勉強の成績」という結果だけではなくて、「翌日の用意」「学校の宿

題や予習・復習」「家庭学習の習慣」など、 家庭で親の目に見える学習への取り組みを期 待していることがあらわれていた。

中1、3生は、1998年調査では、食事関係の気がかり3項目が上位10位以内にあったが、今回の調査ではまったくなく、学習・進路に関する項目が5項目を占めていた。

1998年調査と比較して大きな変化は、各学年に共通して第1位に「整理整頓・片づけ」があげられたことである。1998年調査は中1生では第1位、中2生で第2位、中3生で第4位であったが、中学生では平均して10.7ポイント上昇しており、関心の高さがあらわれていた。また、中3生では景気不況を反映してか第9位に「子どもの教育費」が登場し、高校受験後を意識してか、母親自身の「これからの生きがいや始めたいことについて(以下、『これからの生きがい』と略記)」が第8位に浮上していた。

#### ■表 1 - 2 現在の子育ての気がかり (学年×性別) ②

(%)

|    |                       |                            |                     |                     | (70)                |
|----|-----------------------|----------------------------|---------------------|---------------------|---------------------|
| 順  | 小5生                   | 小6生                        | 中1生                 | 中2生                 | 中3生                 |
| 位  | (男子318人 女子284人)       | (男子305人 女子298人)            | (男子476人 女子382人)     | (男子416人 女子406人)     | (男子421人 女子399人)     |
|    | 整理整頓・片づけ              | 整理整頓・片づけ                   | 整理整頓・片づけ            | 整理整頓・片づけ            | 整理整頓・片づけ            |
| 1  | 男子 67.3<br>女子 61.3    | 54.4<br>58.7               | 61.3<br>58.1        | 55.0<br>61.1        | 52.7<br>52.1        |
|    | 食事のしつけ                | ほめ方・しかり方                   | 家庭学習の習慣             | 子どもの進路              | 子どもの進路              |
| 2  | 男子 44.0               | 35.1                       | 45.2                | 44.7                | 52.0                |
|    | 女子 38.7<br>友だちとのかかわり方 | 37.6<br>友だちとのかかわり方         | 39.0<br>学校の宿題や予習・復習 | 43.3<br>勉強の成績       | 49.9<br>受験準備        |
| 3  | メにらこのかがわりカー 男子 37.7   | <b>えたらといかがわり</b> カ<br>31.8 | 子校の信題や丁音・仮音 43.5    | 地域の成績<br>  39.2     | 文映华调<br>49.4        |
|    | 女子 46.1               | 38.9                       | 33.0                | 38.9                | 51.9                |
| 4  | ほめ方・しかり方              | 生活リズム                      | 友だちとのかかわり方          | 家庭学習の習慣             | 勉強の成績               |
| 4  | 男子 40.6<br>女子 38.4    | 32.1<br>36.6               | 36.3<br>38.7        | 37.5<br>36.7        | 41.8<br>37.8        |
|    | 家庭学習の習慣               | 子どもの性格・態度                  | 生活リズム               | 生活リズム               | 生活リズム               |
| 5  | 男子 37.4<br>女子 28.9    | 30.2<br>33.2               | 35.7<br>36.1        | 34.1<br>38.9        | 38.0<br>38.6        |
|    | 生活リズム                 | 食事のとり方                     | 勉強の成績               | 友だちとのかかわり方          | 家庭学習の習慣             |
| 6  | 男子 32.7               | 31.8                       | 36.6                | 30.5                | 37.5                |
|    | 女子 33.8               | 30.9                       | 30.1                | 39.4                | 29.6                |
| 7  | 歯磨き・手洗い<br>男子 34.0    | しつけの仕方<br>29.2             | 子どもの性格・態度<br>29.0   | 学校の宿題や予習·復習<br>34.1 | 友だちとのかかわり方<br>28.5  |
|    | 女子 27.5               | 28.9                       | 38.2                | 31.0                | 35.3                |
|    | 食事のとり方                | 食の安全性                      | ほめ方・しかり方            | 受験準備                | これからの生きがい           |
| 8  | 男子 33.0<br>女子 27.8    | 30.8<br>26.5               | 30.5<br>31.9        | 29.3<br>31.8        | 31.8<br>27.8        |
| 9  | 子どもの性格・態度             | 家でのテレビゲーム                  | 翌日の用意               | 子どもの性格・態度           | 子どもの教育費             |
|    | 男子 29.2               | 39.3                       | 34.5                | 26.7                | 24.9                |
|    | 女子 30.6<br>家でのテレビゲーム  | 18.1<br>家庭学習の習慣            | 25.9<br>子どもの進路      | 33.7<br>ほめ方・しかり方    | 28.3<br>学校の宿題や予習・復習 |
| 10 | 男子 42.5               | 28.9                       | 31.1                | 26.0                | 29.0                |
|    | 女子 17.3               | 26.2                       | 28.3                | 30.3                | 23.6                |

注1) 複数回答。 注2) 項目は一部、略記した。詳細は「調査票見本」(p.118) を参照のこと。

#### 2. 現在の一番の気がかり

小学生の母親の最大関心事は、①「友だちとのかかわり方」、②「ほめ方・しかり方」、③「子どもの性格・態度」で、中学生は、①「子どもの進路」、②「受験準備」、③「友だちとのかかわり方」であった。しかし、学力関係の項目が低年齢化するとともに、全体的に関心が高まっていた。

#### → 小学生は「友だち関係、しつけ方法」、 中学生は「進学や受験」が最大関心事

現在、抱えている子育ての悩みや気がかり のなかで、34項目のなかから、最も気にかか っていることを1つだけあげてもらった。

その結果の上位10位までが**図1-3**に提示されている。図のなかの折れ線グラフは9学年全体の順位で、棒グラフが小学生と中学生それぞれの平均を示している。

小・中学生9学年全体では、①「子どもの 進路」7.5%、②「友だちとのかかわり方」 7.3%、③「子どもの性格・態度」5.7%、④ 「ほめ方・しかり方」5.5%、⑤「受験準備」 5.2%が上位5位であったが、小学生と中学 生の順位には大きな相違がみられた。

小学生は、①「友だちとのかかわり方」 8.6%、②「ほめ方・しかり方」7.6%、③ 「子どもの性格・態度」6.6%、④「人間関係 (母親自身の人間関係)」4.9%、⑤「これか らの生きがい」4.5%の順であった。

子どもの性格や態度がらみで友だちづきあいが気になり、母親自身の人間関係に悩むなど対人コミュニケーションが関心事の核になっている。

一方、中学生では、①「子どもの進路」13.0%、②「受験準備」8.2%、③「友だちとのかかわり方」5.5%、④「家庭学習の習慣」4.6%、⑤「子どもの性格・態度」4.5%、⑤「これからの生きがい」4.5%が上位にあげられており、子どもの友だち関係も気にはなるものの、母親の意識のなかでは進路や受験が最優先されていることがあらわれていた。

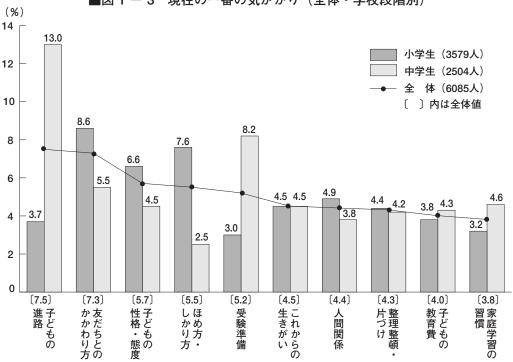
子どもの出生順位では、「第1子」に多い悩みは「子どもの性格・態度」「友だちとのかかわり方」「しつけの仕方」「受験準備」で、「第2子」以降は、「食事のとり方」「食の安全性」「子どもの教育費」「からだの悩み(母親自身のもの)」が多かった。母親の就業状況別では、「専業主婦」は「食の安全性」「子どもの性格」「しつけの仕方」「からだの悩み」「これからの生きがい」、「パートやフリー」は「受験準備」、「常勤」は「生活リズム」「整理整頓・片づけ」「仕事と家庭の両立」がそれぞれ多かった。

#### 子どもの学習力への期待が低学年化 し、高まっている

現在の一番の気がかりを学年別推移でみると、「子どもの進路」は小4生で上昇して中1生で下降し、また、中2、中3生で急上昇しており、それぞれ中学受験と高校受験に対応している(図1-4)。また、一番の気がかりで「受験準備」をあげた母親のなかで、「中学受験」をさせる割合は、小4生72.7%、小5生73.5%、小6生91.5%であった。

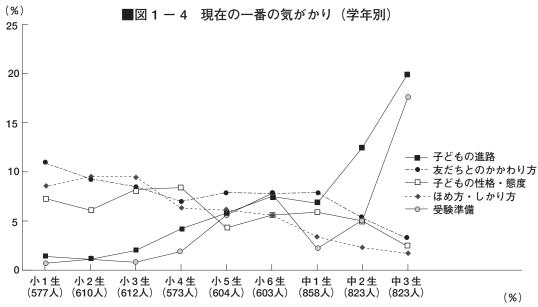
1998年調査と比べると、上位5位の項目については母親の関心度が高まっており、全般的に数値自体が高くなっている。それと同時に、「整理整頓・片づけ」「生活リズム」など生活習慣の気がかりを抱きながらも、子どもの受験や進路、学力関連の項目が小学校中学年から関心の中心に移行し、学年が早くなっていることが今回の特徴である。

#### ■図1-3 現在の一番の気がかり(全体・学校段階別)



注2)「全体」には学校段階が不明の者も含む。 注1) 34項目中から1つ選択。上位10項目を図示した。

注3) 項目は一部、略記した。詳細は「調査票見本」(p.118) を参照のこと。



|            | 小1生  | 小2生 | 小3生 | 小4生 | 小5生 | 小6生 | 中1生 | 中2生  | 中3生  |
|------------|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|------|
| 子どもの進路     | 1.4  | 1.1 | 2.0 | 4.2 | 5.8 | 7.5 | 6.8 | 12.5 | 20.0 |
| 友だちとのかかわり方 | 10.9 | 9.3 | 8.5 | 7.0 | 7.9 | 7.8 | 7.9 | 5.3  | 3.2  |
| 子どもの性格・態度  | 7.3  | 6.1 | 8.2 | 8.4 | 4.3 | 5.6 | 5.9 | 5.0  | 2.4  |
| ほめ方・しかり方   | 8.5  | 9.5 | 9.5 | 6.3 | 6.1 | 5.6 | 3.4 | 2.3  | 1.7  |
| 受験準備       | 0.7  | 1.1 | 0.8 | 1.9 | 5.6 | 7.8 | 2.2 | 5.1  | 17.6 |

注1)34項目中から1つ選択。上位5項目を図示した。

注2) 項目は一部、略記した。詳細は「調査票見本」(p.118) を参照のこと。

#### 制子で対人関係が悩み 母親自身の育児不安が表出

#### <小学生>

低学年の子どもを抱えて働く母親の「仕事と家庭の両立」は小 $1\sim$ 小3生まで上位にあげられていた(表 1-3)。

1998年調査と比較すると、「仕事と家庭の両立」は小3~中3生の上位10位にはあげられていなかった項目である。1998年調査と今回の母親の就労率(小3~中3生)を比べると「パートやフリー」は0.6ポイント、「常勤」は2.1ポイント上昇していた。

1998年調査では中3生まで各学年であった「アレルギー」の心配は、小1生にのみ第9位にみられた。また、「食の安全性」「食事のとり方」も小3生までは気がかりとして第6~9位にあるが、小4生以上ではあげられていなかった。

小学生の上位3位は今回も1998年調査と同 じ項目順位であり、小学生の母親にとっては これらが変わらぬ三大関心事であることを示 していた。

「整理整頓・片づけ」「友だちとのかかわり方」は低学年では、男子のほうが気がかりの数値が高いが、小4生からは、とくに女子のほうが次第に高くなり、「友だちとのかかわり方」は、小5生では男子の倍以上の数値を示していた。

また、今回の傾向としては、親子ともに対 人関係の悩みが上昇してきたことと、さらに、 子ども自身の生活習慣やからだの成長発達に 関連した食生活やアレルギーなどの気がかり は少なく、「これからの生きがい」「からだの 悩み」「仕事と家庭の両立」「人間関係」など 母親自身の育児不安や今後のことが関心の大 きな割合を占めていたことがあげられる。

#### ■表 1 - 3 現在の一番の気がかり(全体・学年×性別)①

(%)

|    |                     |                  |                   |                  | (70)                                    |
|----|---------------------|------------------|-------------------|------------------|---|
| 順  | 全体                  | 小1生              | 小2生               | 小3生              | 小4生                                     |
| 位  | (男子3129人 女子2948人)   | (男子300人 女子277人)  | (男子297人 女子313人)   | (男子323人 女子289人)  | (男子273人 女子300人)                         |
| _  | 子どもの進路              | 友だちとのかかわり方       | ほめ方・しかり方          | ほめ方・しかり方         | 子どもの性格・態度                               |
| 1  | 男子 8.1<br>女子 6.9    | 11.3<br>10.5     | 8.4<br>10.5       | 9.6<br>9.3       | 7.7<br>9.0                              |
|    | 友だちとのかかわり方          | ほめ方・しかり方         | 友だちとのかかわり方        | 友だちとのかかわり方       | 友だちとのかかわり方                              |
| 2  | 男子 6.4<br>女子 8.3    | 6.7<br>10.5      | 9.4<br>9.3        | 8.0<br>9.0       | 5.9<br>8.0                              |
|    | タナ 8.3<br>子どもの性格・態度 | 子どもの性格・態度        | 9.3<br>子どもの性格・態度  | 9.0<br>子どもの性格・態度 | ほめ方・しかり方                                |
| 3  | 男子 5.2              | ナともの性格・態度<br>7.3 | 一丁ともの性格・態度<br>6.4 | 丁ともの性格・態度   8.4  | (Aの) (Aの) (Aの) (Aの) (Aの) (Aの) (Aの) (Aの) |
|    | 女子 6.3              | 7.2              | 5.8               | 8.0              | 6.3                                     |
|    | ほめ方・しかり方            | 仕事と家庭の両立         | 人間関係              | 仕事と家庭の両立         | 整理整頓・片づけ                                |
| 4  | 男子 5.3<br>女子 5.7    | 3.3<br>8.3       | 6.7               | 5.6<br>6.9       | 3.7<br>8.3                              |
|    | 女子 5.7<br>受験準備      | 人間関係             | 4.8               | 人間関係             | 人間関係                                    |
| 5  | ラ フ テ               | 人间关闭<br>4.0      | しつけの仕方<br>5.7     | 人间关闭<br>  6.5    | 人间关闭<br>5.5                             |
|    | 女子 5.5              | 6.5              | 5.1               | 3.5              | 5.3                                     |
|    | これからの生きがい           | 食事のとり方           | 仕事と家庭の両立          | 整理整頓・片づけ         | これからの生きがい                               |
| 6  | 男子 4.9<br>女子 4.1    | 6.0              | 3.0               | 6.2<br>3.1       | 3.7                                     |
|    | 女子 4.1<br>人間関係      | 4.0<br>しつけの仕方    | 6.4<br>これからの生きがい  | これからの生きがい        | 5.0<br>子どもの進路                           |
| 7  | 男子 4.5              | 4.3              | してれがらの生さがい 4.4    | してれがらの生さがい 4.0   | ナともの進路 4.0                              |
|    | 女子 4.3              | 5.8              | 4.8               | 3.8              | 4.3                                     |
| 8  | 整理整頓・片づけ            | これからの生きがい        | 整理整頓・片づけ          | 食事のとり方           | しつけの仕方                                  |
|    | 男子 3.8<br>女子 4.8    | 6.3<br>3.2       | 4.7<br>3.8        | 4.3<br>3.1       | 4.0<br>3.3                              |
|    | タナ 4.0<br>子どもの教育費   | アレルギー            | 3.6<br>食の安全性      | しつけの仕方           |   |
| 9  | 男子 3.7              | 5.3              | 2.4               | 2.8              | 4.4                                     |
|    | 女子 4.3              | 1.4              | 4.8               | 4.5              | 3.0                                     |
|    | 家庭学習の習慣             | 家庭学習の習慣          | からだの悩み            | 家庭学習の習慣          | からだの悩み                                  |
| 10 | 男子 4.6              | 4.7              | 3.4               | 2.8              | 2.2                                     |
|    | 女子 2.9              | 2.2              | 2.9               | 4.5              | 4.7                                     |

注1)34項目中から1つ選択。

注2) 項目は一部、略記した。詳細は「調査票見本」(p.118) を参照のこと。

#### 家庭学習の習慣がつかない男子 片づけられない女子が心配

#### <中学生>

中学入学を期に、また、あらたに「家庭学習の習慣」を身につけさせたいと願う男子の母親が増えており、中1生で第5位になっていた(表1-4)。

中1生では、小学校高学年から引き続いて、 女子に友だち関係を心配する母親が多く、 「友だちとのかかわり方」が第1位にあげら れていた。

女子の母親は、子どもの性格や態度によって、友だちとうまくいかない、友だち集団から孤立するなど女子特有の友だち関係の悩みをもつのに対して、男子の母親の多くは交遊関係によって「勉強の成績」や「家庭学習の習慣」に及ぼす影響も同時に気がかりとしてあげていた。

「整理整頓・片づけ」は小3生までは、男子のほうに多い悩みであるが、小4生~中学生では女子のほうが多くなっていた。1998年調査では、「整理整頓・片づけ」は中1生のみ男子0.8%、女子2.5%で第5位にあったが、今回は中1~中3生までの各学年で10位以内にあり、進路や勉強に関する項目に続いてあげられていた。モノが散乱していても、部屋の掃除や片づけをしない子どもの扱いに困っている母親の心情が出ていた。

過去の別の調査結果では、母親が「これからの生きがい」を最大関心事にあげるのは、卒業を目前にした学年や新入学時が多かった。しかし、今回は母親自身の「これからの生きがい」「人間関係」「からだの悩み」が、ほぼ9学年通してあげられていた。また、塾や習い事、私立の授業料など「子どもの教育費」も小4生から始まり、中学でも切実な問題であった。

#### ■表 1 - 4 現在の一番の気がかり(学年×性別)②

(%)

|    |                    |                 |                 |                                      | (%)             |
|----|--------------------|-----------------|-----------------|--------------------------------------|-----------------|
| 順  | 小5生                | 小6生             | 中1生             | 中2生                                  | 中3生             |
| 位  | (男子318人 女子284人)    | (男子305人 女子298人) | (男子476人 女子382人) | (男子416人 女子406人)                      | (男子421人 女子399人) |
|    | 友だちとのかかわり方         | 友だちとのかかわり方      | 友だちとのかかわり方      | 子どもの進路                               | 子どもの進路          |
| 1  | 男子 5.0             | 6.9             | 6.1             | 13.2                                 | 20.7            |
|    | 女子 11.3            | 8.7             | 10.2            | 11.8                                 | 19.5            |
| 2  | ほめ方・しかり方<br>男子 6.0 | 受験準備<br>8.9     | 勉強の成績<br>5.9    | 勉強の成績<br>  8.2                       | 受験準備            |
| 2  | 男子 6.0<br>女子 6.3   | 8.9<br>6.7      | 5.9<br>8.4      | 6.4                                  | 19.0            |
|    | 子どもの進路             | 子どもの進路          | 子どもの進路          | 友だちとのかかわり方                           | 勉強の成績           |
| 3  | 男子 5.7             | 8.9             | 8.8             | 4.3                                  | 7.8             |
|    | 女子 6.0             | 6.0             | 4.2             | 6.4                                  | 5.8             |
|    | 受験準備               | 子どもの教育費         | 子どもの性格・態度       | これからの生きがい                            | からだの悩み          |
| 4  | 男子 5.3             | 4.6             | 5.0             | 6.0                                  | 5.2             |
|    | 女子 5.6             | 7.0             | 7.1             | 4.4                                  | 3.5             |
| _  | 整理整頓・片づけ           | 子どもの性格・態度       | 家庭学習の習慣         | 受験準備                                 | これからの生きがい       |
| 5  | 男子 3.8<br>女子 6.7   | 3.9<br>7.4      | 8.0<br>3.4      | 5.5<br>4.7                           | 4.3<br>4.0      |
|    |                    | ほめ方・しかり方        |                 | 4.7<br>子どもの教育費                       | 人間関係            |
| 6  | 男子 4.7             | 6.9             | 24.8 4.8        | 5.3                                  | 4.3             |
|    | 女子 5.3             | 4.4             | 5.2             | 4.9                                  | 2.8             |
|    | これからの生きがい          | 人間関係            | からだの悩み          | 子どもの性格・態度                            | 整理整頓・片づけ        |
| 7  | 男子 5.7             | 3.9             | 5.3             | 3.6                                  | 2.6             |
|    | 女子 4.2             | 5.4             | 3.9             | 6.4                                  | 3.8             |
|    | 子どもの性格・態度          | これからの生きがい       | 子どもの教育費         | 家庭学習の習慣                              | 友だちとのかかわり方      |
| 8  | 男子 4.4<br>女子 4.2   | 4.3<br>4.4      | 4.8<br>4.2      | 5.5<br>4.4                           | 3.1<br>3.3      |
|    | 女丁 4.2<br>からだの悩み   |                 |                 | ************************************ | 3.3<br>子どもの教育費  |
| 9  | からたの悩み 男子 3.5      | 登珪登明・h フロ 3.0   | 人间关闭<br>3.4     | 登珪登明・月 70   2.9                      | 丁ともの叙月賞   2.1   |
|    | 女子 5.3             | 4.4             | 5.0             | 5.7                                  | 4.3             |
|    | 家庭学習の習慣            | 家庭学習の習慣         | これからの生きがい       | からだの悩み                               | 家庭学習の習慣         |
| 10 | 男子 4.4             | 4.3             | 4.8             | 4.1                                  | 4.0             |
|    | 女子 3.5             | 2.7             | 3.1             | 3.9                                  | 1.5             |

注1)34項目中から1つ選択。

注2) 項目は一部、略記した。詳細は「調査票見本」(p.118) を参照のこと。

#### 3. しつけ・教育の情報源

小学生での情報源は、友人など「準拠するコミュニティ」を中心にして、身近に相談できる自分の親や配偶者など"ファミリー志向"の傾向を示していたが、中学生では配偶者と先生がしつけ・教育の相談相手として上昇していた。

#### ■ ①「近所の友人・知人」、②「配偶者」、

#### ③「自分の親」が情報源の上位3位

情報化時代の母親は子どものしつけ・教育 に必要な情報をさまざまな人やメディアから 入手している。

「子どものしつけや教育の情報をどこから (だれから)得ているか」という設問の複数 回答結果を示したのが図1-5である。

小・中学生 9 学年を通しての順位は、① 「近所の友人・知人」56.4%、②「配偶者」(質問中は「夫、または妻」としたが、以下、「配偶者」と表記)47.2%、③「自分の親」45.0%、④「新聞」39.2%、⑤「テレビ・ラジオ」36.1%であった。小学生全体では、①「近所の友人・知人」59.6%、②「自分の親」50.3%、③「配偶者」47.6%、④「近所ではない友人・知人」36.1%と家族を中心にした準拠コミュニティである。

中学生になると、①「近所の友人・知人」 51.8%、②「配偶者」46.6%、③「新聞」 44.2%、④「学校の先生」37.6%となり、より専門性の高い新聞や先生などから教育情報 を得ている様子があらわれていた。

#### → 小学校では家族と友人ネットワーク、 中学校では配偶者と先生が上昇

小1生から中3生までの9学年での情報源 の推移を示したのが**図1-6**である。

小学校低学年の時には、「配偶者」や「自 分の親」など身近で気軽に相談できるファミ リー志向がみられる。また、「近所の友人・ 知人」など同じ年ごろの子どもがいる子育て 仲間からの実践的な育児情報を活用してい る。学年が上がると「自分の親」は下降して いき、小学校高学年からは「新聞」「テレビ・ラジオ」などのメディアや「学校の先生」 から情報を得ていた。

「配偶者」は、小学生で学年によっては上下 するが、中学生からは子どもの進路、受験な ど教育の相談相手として必要とされていた。

「学校の先生」と「自分の親」は、小3生や小5生など子どもがむずかしい時期にはそれぞれが上昇していた。

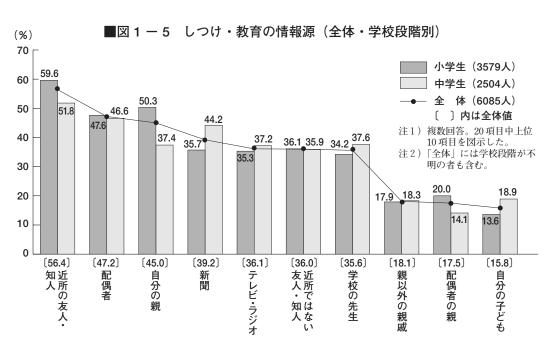
母親の情報源を就業状況別に比べると、「専業主婦」は小学生では、「近所の友人・知人」「配偶者」「育児書や教育書など専門書」「新聞」、中学生では「近所の友人・知人」「新聞」「通信教育の親向けの雑誌」から多く情報を得ていた。

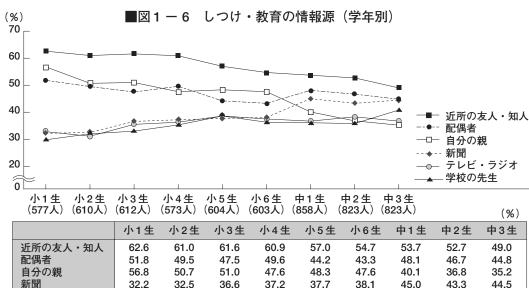
「パートやフリー」は、小学生では「近所の友人・知人」「テレビ・ラジオ」で、中学生では、「近所の友人・知人」、「常勤」は、小学生で「近所ではない友人・知人」「学校の先生」を他より多く情報源としていた。

#### ■ 1998年調査より増加した情報源は 「自分の親 | 「近所ではない友人・知人 |

1998年調査と小3生から中3生までを経年 比較した結果が**図1-7**である。

全体的には、1998年調査より情報入手率は下がっているが、「自分の親」「近所ではない友人・知人」は上がっていた。1998年調査項目の「実家の母」を、今回は「自分の親」と表記したため、父親も含まれて増加したことも考えられる。しかしながら、実家の親への帰属意識が高まり、自分が準拠したい特定の友人からの情報選別がなされていることが近年の情報行動特徴ともいえる。





学校の先生 注) 複数回答。

テレビ・ラジオ

32.8

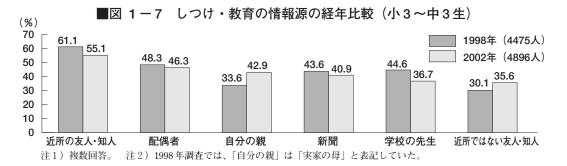
29.8

31.1

32.0

35.5

33.0



36.3

35.3

38.6

38.6

37.5

36.3

36.7

36.1

38.3

35.8

36.7

40.8

#### 4. 参考にするしつけ・教育の情報源

母親がとくに参考にしている情報源は、①「近所の友人・知人」、②「配偶者」、③ 「自分の親」、④「近所ではない友人・知人」、⑤「学校の先生」であったが、子育 ての最大関心事によって、参考にする情報源を選定していることが明らかになった。

#### 参考情報源上位も「近所の友人・知人」 「配偶者 | 「自分の親 | の順

現代の母親たちは、育児不安を軽減したり、 子どもへの教育期待を実現するための情報行動として、自分が準拠する仲間集団や専門家、 メディアから多様な育児情報を収集している。

そのなかからとくに参考にしている人やモノを上位3つ選定してもらい、第1位から第3位までを合算した結果の上位10位が図1-8である。上位にあげられたのは、①「近所の友人・知人」41.1%、②「配偶者」35.7%、③「自分の親」30.0%、④「近所ではない友人・知人」23.5%、⑤「学校の先生」22.9%の順であった。

母親自らが参考にしたいと選ぶ情報源としては、同じ学校の保護者同士など地域情報をもつ「近所の友人・知人」を筆頭にあげていた。同様に、子どもが乳幼児期から小学校低学年までの頼みの綱は「自分の親」である。しかし、小学校高学年以降には、子どもの将来にわたる進路や教育を相談する相手として、「配偶者」や「学校の先生」が上昇していた。また、生活感覚が似ており近い教育観をもつさまざまな場で出会った「近所ではない友人・知人」も学年が上がると上昇していた(図1-9)。

1998年調査でのしつけ・教育情報源では、 "最も信頼する育児情報源"としては、①「配 偶者」、②「近所の友人・知人」、③「実家の 母」、④「学校の先生」、⑤「近所ではない友 人・知人」の順になっていた。

2002年調査では、"とくに参考にしている情報源"と明記し、実際に参考情報として準

拠していることに力点を置いた。その結果、 実践的に役に立つ日常のしつけ・教育情報源 の順位が提示されていた。

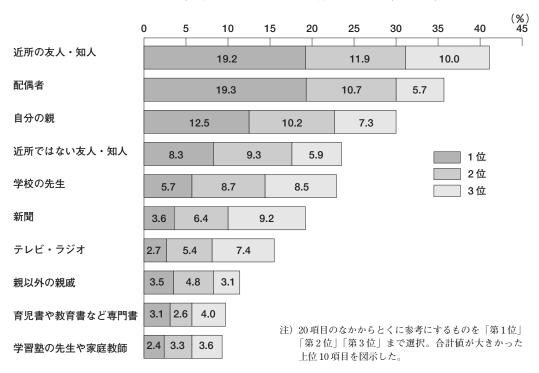
#### ● 子育ての一番の気がかりと 最も参考にする情報源

母親たちの「現在の一番の気がかり」と、 とくに参考にする情報源第1位にあげられた 人たちとをクロス集計して検定した。

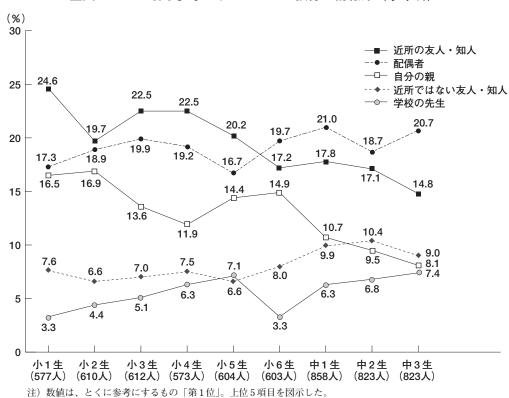
その結果では、小学生で「しつけの仕方」 「家庭学習の習慣」、中学生では「友だちとの かかわり方」を一番の気がかりにしている母 親は「近所の友人・知人」を参考情報源にし ている人が多く、さらに、小学生で「子ども の教育費 | 「仕事と家庭の両立 |、中学生で 「これからの生きがい」が最大関心事の母親 は、「近所ではない友人・知人」を参考情報 源の第1位にあげている人が多かった。また、 小学生で「あいさつやお礼の習慣」、中学生 で「外でのゲームセンターやカラオケなどで の遊び | を心配している母親は、「自分の親 | を情報源として選定していた。小学生で「整 理整頓・片づけ | 「子どもの進路 |、中学生で 「子どもとの接し方」「家でのテレビゲームや マンガなどの遊び」が悩みの母親は、「配偶 者」を参考情報源に最も多く選び、小学生で 「学校の宿題や予習・復習|「受験準備|「子 どもの教育費」、中学生で「子どもの進路」 が一番の気がかりな母親は、「学校の先生」 を参考情報源の第1位にあげる割合が高かっ

以上のように、確かな情報収集意図に基づいて、母親たちは自らの情報源に準拠して参考にしていることが明らかになった。

#### ■図1-8 参考にするしつけ・教育の情報源(順位別)



#### ■図1-9 最も参考にするしつけ・教育の情報源(学年別)



#### 5. 日ごろの生活習慣

日ごろの生活習慣の自立度は全般的に低く、「完全に一人でできる」割合は20%前後の項目が多かった。また、「もう少しきちんとやってほしいこと」には、母親のジェンダー意識があらわれており、また、他より自立度が高い子どもの親でもさらなる要望がみられた。

#### (1) 生活習慣の実態

#### ●「翌日の用意」「歯磨きの習慣」のみ 2人に1人が完全にできる

子どもの日ごろの様子や生活習慣など、どのくらい自立しているのかを、「完全に一人でできる」から「まったく一人ではできない」までの4段階評定でたずねた結果を示したのが、図1-10である。

小1生から中3生まで全体で、「完全に一人でできる」と「だいたい一人でできる」を合わせて「できる」ことは、①「乗り物や路上などでのマナー」92.3%、②「あいさつやお礼を言うこと」88.7%、③「翌日の学校の用意や準備(以下、『翌日の用意』と略記)」88.2%、④「食事のマナー」84.6%、⑤「歯磨きの習慣」84.1%が上位5位であった。

他も2、3の項目を除いて平均して7~8割は「できる」と回答されていたが、「完全に一人でできる」数値は20%前後が多く、およそ2人に1人が完全にできるのは「翌日の用意」と「歯磨きの習慣」のみであった。

しかしながら、9学年間では、生活習慣の自立度もおのずと開きがあるため、学年を細かく区切り、小学校低学年、中学年、高学年、中学生の4段階で上位3位までを比較した。「乗り物や路上などでのマナー」ができる割合の小学校低学年から中学生までの推移は、86.2%→90.6%→92.4%→95.9%であった。

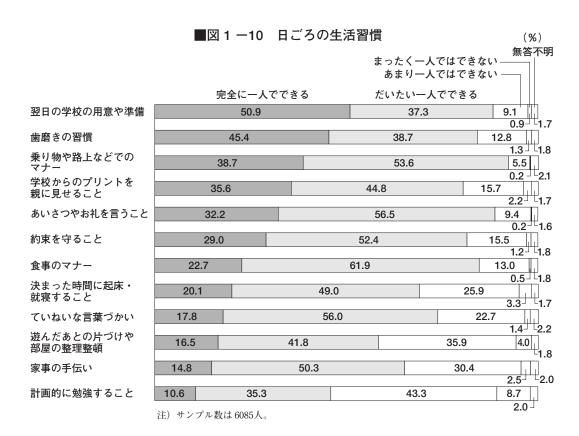
「あいさつやお礼を言うこと」の割合は、 80.1%→86.2%→89.4%→93.8%で、「翌日の 用意」は、78.6%→89.1%→88.6%→92.2%と、 おおむね学年が上がるに伴って上昇してい た。

#### 「ていねいな言葉づかい」以外は すべて女子の自立度が高い

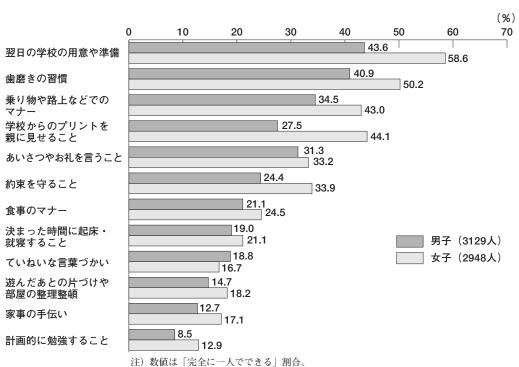
12項目を「完全に一人でできる」割合が高かった順序で男女別に比較したのが図1-11である。いずれの項目でも女子が高数値を示しているが、「ていねいな言葉づかい」だけが男子の平均値のほうが2.1ポイント高かった

男女差が最も大きかったのは、「学校からのプリントを親に見せること」16.6ポイントである。学年段階でみると、小学校高学年の男子は29.4%、女子50.0%で20.6ポイントの差があり、小学校中学年も20.0ポイントの差があった。次に、「翌日の用意」の平均値の差は15.0ポイントであるが、小学校中学年は19.0ポイント、小学校高学年で19.5ポイントであった。「約束を守ること」も、小学校高学年12.6ポイント、中学生で10.4ポイント女子のほうが高かった。これらの結果には、小学校高学年の男子に手をやく母親の姿があらわれていた。

また、「ていねいな言葉づかい」は、小学校低学年は0.4ポイント男子が高く、小学校中学年6.0ポイントと小学校高学年2.5ポイントは女子のほうに自立度が高いが、中学生になると、逆に女子の言葉づかいが悪くなり8.0ポイント男子との差がついていた。



■図 1 - 11 日ごろの生活習慣(「完全に一人でできる | 割合)(性別)



#### 「片づけ」が一人でできる割合は、 小学生 8 人に 1 人、中学生 5 人に 1 人

日ごろの生活習慣で完全に一人でできる子 どもは、どのような内容項目でも平均してほ ぼ5割以下であった。

そのなかでも**図1-12**に示した項目は、一人でできる割合が平均して1~2割という母親の頭を悩ます生活習慣の学年推移である。

学年が上がるにつれてできる割合も上昇しているが、最もできる数値が低かった「計画的に勉強すること」は、小学校高学年の平均で10.3%、中学生平均でも16.2%にとどまっており、全体では平均して10.6%と10人に1人しかできていないことになる。「家事の手伝い」は小3生12.3%が、小5生で14.1%、中1生17.1%、中2生17.3%と緩やかにしか増えておらず、中3生でも20.3%で5人に1人しかできていない状況である。

「現在の子育ての気がかり」として、9学年共通して第1位にあげられた「整理整頓・片づけ」の類似項目である「遊んだあとの片づけや部屋の整理整頓」は、小1生8.7%、小3生9.0%、小5生14.1%、中1生18.9%、中3生で27.2%と小1生の3倍以上になるが、平均すると小学生では12.7%、中学生21.8%である。

つまり、小学生は8人に1人、中学生では 5人に1人しか「片づけ」は完全にできない 状態であることが明らかになった。

「ていねいな言葉づかい」は、小1生では 5.5%であるが、その後、前学年に比べて 3 ポイントずつくらい伸びて増えていくが、中2 生でまた落ち込み、中3生で32.0%とおよそ 3人に1人の割合となる。「決まった時間に起床・就寝すること」という生活リズムに関しても、「遊んだあとの片づけや部屋の整理整頓」と同じように中学入学時に下降して、

中3生で32.2%が完全に一人でできるように なっていた。

#### ● きちんとやってほしい内容に あらわれるジェンダー意識

生活習慣の自立度は、同じ学年であっても、 子どもの個人差や性差による違いも関係して いると思われる。

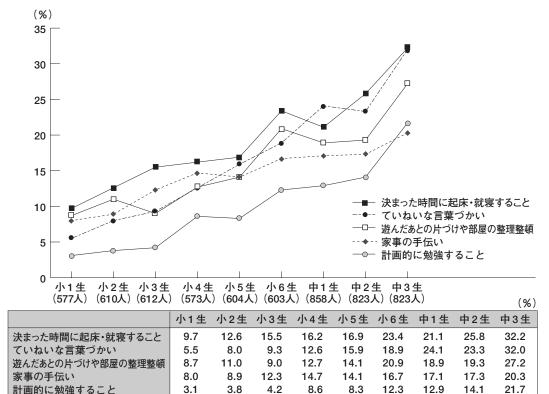
子どもの日ごろの様子や生活習慣で「もう少しきちんとやってほしい」と思うことを複数回答してもらい、性別で比較したのが図1-13である。前述したように「完全に一人でできる」項目は、「ていねいな言葉づかい」を除いて、すべて女子のほうが高い自立度であった。

そのため、男子への要望が女子より数多く、①「学校からのプリントを親に見せること」9.1ポイント差、②「計画的に勉強すること」7.0ポイント差、③「約束を守ること」6.7ポイント差、④「翌日の用意」5.7ポイント差など8項目で女子に対してよりも男子に対してより強く要望していた。一方、女子のほうに多いのは、①「ていねいな言葉づかい」5.8ポイント差、②「家事の手伝い」4.3ポイント差、③「遊んだあとの片づけや部屋の整理整頓」1.2ポイント差、④「あいさつやお礼を言うこと」0.5ポイント差の4項目であった。

以上の項目をみると、男子には個人として 学力や社会性を身につけるための対外的な生 活習慣が多く、女子には円滑なコミュニケー ションや家庭内でのしつけ・マナーを養いた いという思いが感じられる。

母親が抱く伝統的な育児規範としての「男の子・女の子」への性役割期待が、日常のしつけ・教育観を通しても明確にあらわれていた。

■図 1 - 12 日ごろの生活習慣(「完全に一人でできる | 割合)(学年別)



注)数値は「完全に一人でできる」割合。12項目中下位5項目を図示した。

計画的に勉強すること

3.1

3.8

#### ■図1-13 もう少しきちんとやってほしいこと(性別)

4.2

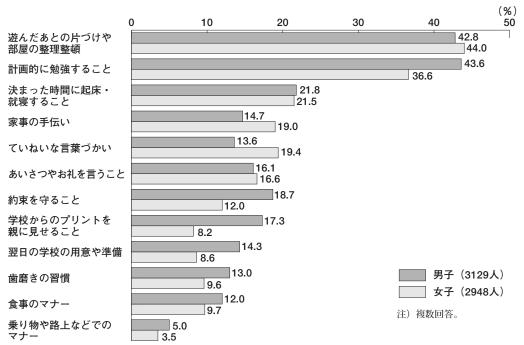
8.6

8.3

12.3

12.9

14.1



## → 中学生でも3人に1人はできない 「片づけ」と「家事の手伝い」

日ごろの様子や生活習慣のなかで、「あまり一人ではできない」と「まったく一人ではできない」と「まったく一人ではできない」の割合を加算した数値の学年比較を示したのが図 1 -14である。

これらの5項目は、生活習慣のなかでもなかなか自立しにくい内容であるが、学年が上がるにしたがって「一人ではできない」割合は低下していき、「計画的に勉強すること」は、小1生75.9%が中3生では35.5%で半分以下になり、「ていねいな言葉づかい」は小1生43.7%が中3生では13.7%で3分の1になっていた。

しかし、「遊んだあとの片づけや部屋の整理整頓」は、小1生で48.0%が中1生39.2%、中3生でも30.6%と大幅には減少せず、同様に、「家事の手伝い」も小1生41.5%が中1生33.5%、中3生で31.0%と、いずれも、中学生になっても3人に1人ができない現状であった。

#### 学年上昇とともに上がる要望は 「計画的な勉強」「家事の手伝い」

「もう少しきちんとやってほしい」と思う ことを学年比較したのが**図1-15**である。

図1-14の「一人ではできない」上位5項目に対応するように、「もう少しきちんとやってほしい」上位5項目は同じ内容であった。

ところが、「計画的に勉強すること」と「家事の手伝い」は、学年が上がって「一人ではできない」割合が下降しても、それと交互するように「もう少しきちんとやってほしい」割合が上昇しており、母親としては、現状より以上の期待があることがうかがえる。

その一方、学年が上がって小学校高学年になると、「もう少しきちんとやってほしいこと」が下降していくのは、「遊んだあとの片づけや部屋の整理整頓」「ていねいな言葉づかい」「決まった時間に起床・就寝すること」である。これらは、「計画的に勉強すること」や「家事の手伝い」に比べると、「現在の一

番の気がかり」同様に、中学生の母親にとっての関心度が低くなっていくためと思われる。

また、子どもの出生順位でみると、「第1子」への「もう少しきちんとやってほしいこと」が「第2子」以降より多く、とくに、「あいさつやお礼を言うこと」「食事のマナー」「家事の手伝い」「計画的に勉強すること」への要望が高かった。

母親の就業状況別では、「専業主婦」は「あいさつやお礼を言うこと」「食事のマナー」、「パートやフリー」は「計画的に勉強すること」、「常勤」は「歯磨きの習慣」「学校からのプリントを親に見せること」がそれぞれ他より多い項目であった。

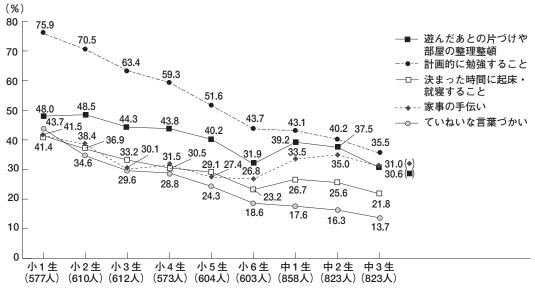
#### ●子どもの自立度 「とても満足」 は5.9% 「まあ満足」は67.3%

子どもの「生活習慣や自立の状況」を全体として満足しているかどうかをたずねた結果では、「とても満足している」5.9%、「まあ満足している」67.3%で合わせて73.2%であった。満足度は、女子のほうがやや多かった(図1-16)。

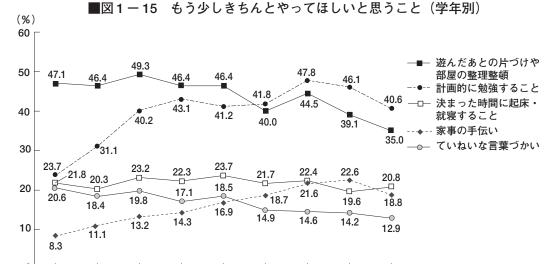
生活習慣12項目の4段階評価をそれぞれ「完全に一人でできる」を4点、「だいたい一人でできる」3点、「あまり一人ではできない」2点、「まったく一人ではできない」1点と個人の自立度得点を合算した結果では、平均点が36.4点となり、12項目で割るとほぼ「だいたい一人でできる」の3点になるので、「まあ満足」と評価する母親たちに対応していた。

さらに、個人の自立度合計得点を高(39~48)、中(35~38)、低(14~34)点数グループの3等分割した。その結果、高点数グループであっても、「もう少しきちんとやってほしいこと」として、さらに、「計画的に勉強すること」31.1%、「遊んだあとの片づけや部屋の整理整頓」30.0%と3人に1人が子どもに要望していた。

#### ■図1-14 日ごろの生活習慣(「一人ではできない | 割合)(学年別)

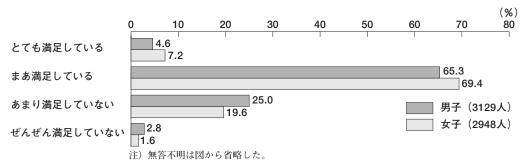


注)数値は「あまり一人ではできない」と「まったく一人ではできない」の合計。12項目中上位5項目を図示した。



小4生 小5生 小6生 小1生 小2生 小3生 中1生 中24 中34 (577人) (610人) (612人) (573人) (604人) (603人) (858人) (823人) (823人) 注)複数回答。12項目中上位5項目を図示した。

#### ■図1-16 生活習慣や自立状況への満足度(性別)



#### 6. 現在の生活の満足度

現在の生活の満足度は、「親としての生活」が80.7%、次に「一人の人間として総合すると」69.1%、「妻としての生活」67.2%で、「社会人としての生活」は60.7%で最も低かった(「とても満足している」十「まあ満足している」の割合)。また、就業状況別ではそれぞれの特徴的な差異がみられた。

#### 親としての生活には各学年 8割前後が満足している

現在の生活を「親として」「妻として」「社会人として」「一人の人間として」どのように感じているのか、「とても満足している」から「ぜんぜん満足していない」までの4段階の評価で回答してもらった。その結果の「とても満足している」と「まあ満足している」を合わせた割合の学年別比較が図1-17である。

小1生から中3生までの変化をみると、全体的に学年が上がるにつれて少しずつ上昇しているが、小4生から小5生のむずかしい時期には一度下降していることがわかる。とくに、小5生は、「親としての生活」76.8%で最も低くなっていた。全体では、「親としての生活」が80.7%で自己評価が最も高く、次に「一人の人間として総合すると」69.1%、「妻としての生活」67.2%で、「社会人としての生活」は60.7%で最も低かった。

#### 専業主婦は「親として」 常勤者は「社会人として」の 自己評価が高い

生活の満足度を母親の就業状況別に比較した結果を**図1-18**に示した。

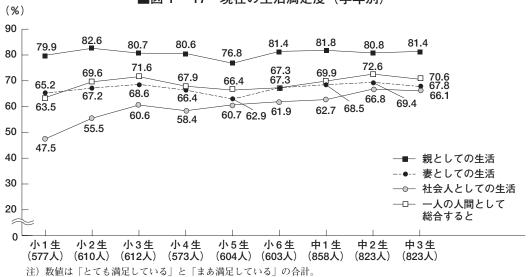
「専業主婦」は、「親としての生活」が他に 比べて最も高く84.7%で、「妻としての生活」 も最も高い72.8%であった。しかしながら、 「社会人としての生活」は43.8%で最も低く、 その結果も影響してか「一人の人間として総 合すると」も65.6%で最下位に位置づけられ た。次に、「常勤」は、「親としての生活」が 73.9%で最も低く、「妻としての生活」も

58.1%と最下位であった。しかし、「社会人 としての生活 は81.9%で最も高く、「一人 の人間として総合すると | も自己評価が他と 比べて最も高かった。「パートやフリー」は、 「親としての生活」は82.7%と「専業主婦」 に近い高い評価をしており、「妻としての生 活 | 68.4%、「社会人としての生活 | 69.9%と、 まさに「専業主婦」と「常勤」との中間的位 置づけに自己評定していた。「パートやフリ ー は、「一人の人間として総合すると」73.0 %と「専業主婦」よりは、「常勤」にほぼ近 い数値になっていた。これらの結果からは、 「パートやフリー」の自己評価が3者の中で はバランスのとれた位置にあり、他の回答項 目においても、「パートやフリー」の母親は 子どもへのしつけ・教育や生活習慣の自律性 を促す配慮が他より多くみられた。

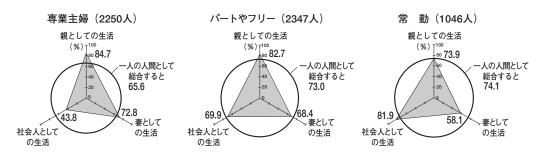
#### 常勤者の「一人の人間として」の評価は 学年段階で大きく変化する

就業状況別に「親としての生活」と「一人の人間として総合すると」の学年段階別の変化をみたのが図1-19である。「親としての生活」は小学校低学年と中学生の自己評価が高く、小学校高学年が最下位であることが共通していた。しかし、「一人の人間として総合すると」の評価では、「常勤」は小学校中学年が最も自己評価が高く、小学校高学年では、子育ての楽しさや生活習慣自立など満足度が他より高かったが、その一方で、小学校高学年では、働く母親として、子どもの扱いや家庭と仕事の両立に悩む様子の一端があらわれていた。

#### ■図 1 -17 現在の生活満足度(学年別)

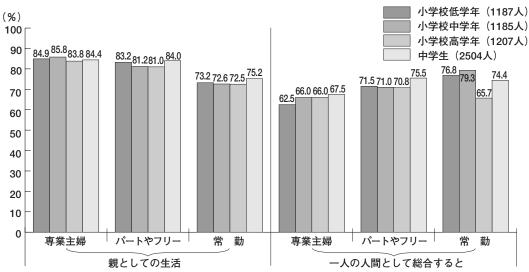


#### ■図 1 -18 現在の生活満足度(就業状況別)



注)数値は「とても満足している」と「まあ満足している」の合計。

#### ■図 1 -19 現在の生活満足度(就業状況別・学年段階別)



注)数値は「とても満足している」と「まあ満足している」の合計。